

熊本学園大学附属社会福祉研究所社会福祉叢書 22

ハンセン病講義 ―学生に語りかけるハンセン病

大野哲夫・花田昌宣・山本尚友 編

2013年3月25日発行

目次

序章 いま、ハンセン病問題を考えることの意味 ―本書の課題と内容について
(花田昌宣)

第一章 ハンセン病の歴史(中世)(山本尚友)

第二章 ハンセン病の歴史(近世)(山本尚友)

第三章 当事者の証言:ハンセン病差別を生きる(中修一)

第四章 日本の近代化過程におけるハンセン病(花田昌宣)

第五章 国際協力(ハンセン病に関して)

―世界へはばたけ 世界はあなたを待っている(畑野研太郎)

第六章 水俣学とハンセン病 ―未来に伝える(原田正純)

第七章 リデル、ライト両女史とハンセン病救済活動(小笠原嘉祐)

第八章 龍田寮の歴史と黒髪校事件について(濱砂美幸)

第九章 当事者の証言:ハンセン病差別の中で生きて(杉野桂子)

第十章 隔離との闘いと今後の課題 ―救済の客体から解放の主体へ

(訓 覇 浩)

終章 まとめ: 偏見・差別のまなざし(大野哲夫)